

～「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」結果発表～
総合グランプリ受賞は『億までの人 億からの人』
ロングセラー賞は両@リベ大学長の
『【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学』に！

累計会員数129万人を突破した本の要約サービス「flier」を運営する株式会社フライヤー（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO 大賀康史）とグロービス経営大学院（東京都千代田区、学長 堀義人）は、2026年2月12日に「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」の受賞作品を発表しました。



今回は133冊のエントリー作品から、全6部門に加え、＜特別賞「ロングセラー賞」＞を設け、昨年最も注目されたロングセラーだと思ふビジネス書を一般投票で決定しました。受賞作品と、特別賞作品を発表します。

総合グランプリに選出されたのは、ゴールドマン・サックス投資部門の日本共同統括を務めた著者が会社員時代に学んだ富裕層の哲学や思考、習慣など、彼らの生態系について学んだことを、あますところなく伝える、『億までの人 億からの人』（田中溪／徳間書店）でした。本書は経済・マネー部門賞も受賞しています。

また、ビジネス実務部門では、令和で1番売れてる会話の本と話題の永松茂久さんのベストセラーの第二弾『人は話し方が9割2』（すばる舎）が受賞。特別賞である「ロングセラー賞」では、日本一わかりやすいお金の教養チャンネル「リベ大」の、両@リベ大学長のベストセラーがパワーアップ！『【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学』（朝日新聞出版）が受賞しました。

本発表にあわせて2月13日より順次、ジュンク堂書店 池袋本店や、紀伊國屋書店 新宿本店など全国約1,700店舗の書店で、受賞作品を展開した店頭フェアを開催します。

※実施していない店舗もございますので、ご来店の際は各店舗までご確認くださいませと幸いです。

■受賞作品

一般投票で選出された全6部門（イノベーション部門、マネジメント部門、経済・マネー部門、自己啓発部門、リベラルアーツ部門、ビジネス実務部門）の部門賞と「総合グランプリ」、＜特別賞＞「ロングセラー賞」の書籍は下記のとおりです。さらに各部門に加え、＜特別賞＞「グロービス経営大学院賞」を授与しました。受賞作品の一部の要約は「flier」にて読むことができます。

部門名	受賞作品
総合グランプリ／ 経済・マネー部門賞	『億までの人 億からの人』（田中溪／徳間書店）
イノベーション部門賞	『1つの習慣』（横山直宏／すばる舎）
マネジメント部門賞	『冒険する組織のつくりかた——「軍事的世界観」を抜け出す5つの思考法』（安斎勇樹／テオリア）
自己啓発部門賞	『科学的に証明された すごい習慣大百科』（堀田秀吾／SBクリエイティブ）
リベラルアーツ部門賞	『お金の不安という幻想』（田内学／朝日新聞出版）
ビジネス実務部門賞	『人は話し方が9割 2』（永松茂久／すばる舎）
＜特別賞＞ ロングセラー賞	『【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学』（両@リベ大学長／朝日新聞出版）
＜特別賞＞ グロービス経営大学院賞	『アフターAI』（シバタナオキ／日経BP）

■受賞作品の総括：

「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」主催
株式会社フライヤー 代表取締役CEO 大賀康史

2025年は、世界的な混迷がいつそう色濃くなった一年でした。長期化するロシア・ウクライナ戦争や中東情勢の緊迫化、トランプ大統領再選後の関税政策をめぐる緊張関係など、国際社会は難しいかじ取りを迫られているように見受けられます。かつてSDGsが「世界共通の正義」として定着したように思われましたが、今は「正義」そのものの輪郭が見えにくい時代に入ったようにも感じられます。



一方で、日本経済は日経平均株価が5万円を超え、新NISA制度の浸透も相まって、株式等への投資のプレゼンスが高まっています。AI分野では、LLMを中心とした生成AIの進化が続き、次の成長領域としてAIロボティクスにも注目が集まっています。ChatGPT一強の時代は終わり、Geminiなどの有力サービス、中国発AIの台頭もあり、AIの競争は一気に激化しました。自動運転の商用化も目前に迫り、経済や雇用にどのような影響をもたらすのか、多くの人が期待と不安の入り混じった感情を抱いています。

歴史上でも例を見ないスピードで技術トレンドが変化するなかで、「私たちはどのように生きるべきなのか」「どうすれば幸せになれるのか」その答えが見えにくい時代に、世界も日本も突入しているように思えます。こうした時代の空気は、今年のビジネス書にも色濃く反映されていました。そして、今回のビジネス書グランプリのキーワードは、「不安ととまどいの時代に求められる、ゆるぎない指針」であると考えられます。

生成AIやSNSによって誰にとっても正しそうに見える正解らしきものがあふれています。しかし、それが本当に自分にとって価値のあるものなのか確信できないまま情報に触れ続けることに、多くの人が疲れを感じています。だからこそ今、人は「ゆるぎなく信じられる考え方」や「人生の軸」を求めているのではないのでしょうか。

総合グランプリに輝いた『億までの人 億からの人』は、資産形成に必要な思考法と行動を率直かつ誠実に描いた一冊でした。実践に結びつく学びが多く、たくさんの読者の支持を集めたことも納得の作品です。

一つのテーマに深く没頭できる読書には、他では得られない体験価値があります。不安の多い社会だからこそ、本が持つ力は人々の心を支え、前に進む勇気を与えてくれる存在であり続けるのではないのでしょうか。今回の受賞作はいずれも、曇った思考をクリアにし、進むべき道を照らしてくれる頼もしい作品ばかりでした。そのような素晴らしい本を世に送り出し続けてくださる出版業界のみなさまに、改めて心より感謝申し上げます。

■フェア概要

全国約1,700店舗の書店で「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」の受賞作品を展開した店頭フェアを2月13日より順次、開催します。

フェア名	読者が選ぶビジネス書グランプリ2026
実施店舗数	全国約1,700店舗
実施期間	2月13日より順次開始し、3月末頃まで実施予定
営業時間	各店舗の営業時間に準ずる
展開書籍	「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」受賞作品



読者が選ぶ
ビジネス書グランプリ
2026



田中溪
億までの人 億からの人
総合グランプリ 第1位

総合グランプリ 第1位
経済・マネー部門賞

億までの人 億からの人
田中溪 | 徳間書店

イノベーション
部門賞



1つの習慣
横山直宏 | すばる舎

マネジメント
部門賞



冒険する組織のつくりかた
安藤勇樹 | テオリア

自己啓発
部門賞



科学的に証明された
すごい習慣
堀田秀吾 | SBクリエイティブ

リベラルアーツ
部門賞



金のお金の不安
という幻想
田内学 | 朝日新聞出版

ビジネス実務
部門賞



人は話し方が9割
2
永松達久 | すばる舎

<特別賞>
ロングセラー賞



お金の大学
【改訂版】
本当の自由を手に入れる
お金の大学
関@リベ大学長 | 朝日新聞出版

<特別賞>
グロービス
経営大学院賞



アフターAI
シバタナオキ | 日経BP

■「読者が選ぶビジネス書グランプリ」とは

「読者が選ぶビジネス書グランプリ」は、その年に発売されたビジネス書のなかから読者（＝ビジネスパーソン）が投票し、読者の視点で「有益だった」「実用的だった」と評価された本を選出するアワードです。ビジネスパーソンの読書習慣を育てて出版業界を盛り上げたいという思いから創設されました。

第11回目を迎えた今回の「読者が選ぶビジネス書グランプリ2026」では、48社の出版社より合計133冊がエントリーしました。

対象書籍	【通常6部門について】 2024年12月から2025年11月に日本国内で刊行された以下6分野の書籍 （イノベーション、マネジメント、経済・マネー、自己啓発、リベラルアーツ、ビジネス実務） 【特別賞「ロングセラー賞」について】 2014年12月から2024年11月の間に日本国内で刊行された書籍 （過去に「読者が選ぶビジネス書グランプリ」の総合グランプリ・部門賞・特別賞を受賞した作品はエントリー対象外） ・出版社からのエントリー書籍、合計133冊
投票方法	・投票は1人1部門・特別賞につき3票（1冊1票）まで ・特別賞以外の6部門の中で最も得票数の多かった書籍を総合グランプリとする
投票期間	2025年12月2日（火）～2025年12月26日（金）
主催	株式会社フライヤー、グロービス経営大学院

【ご参考】部門ごとの投票結果

■総合順位

順位	書籍名（著者名／出版社名）
1	『億までの人 億からの人』（田中溪／徳間書店）
2	『人は話し方が9割 2』（永松茂久／すばる舎）
3	『お金の不安という幻想』（田内学／朝日新聞出版）
4	『1つの習慣』（横山直宏／すばる舎）
5	『冒険する組織のつくりかた——「軍事的世界観」を抜け出す5つの思考法』（安斎勇樹／テオリア）
6	『科学的に証明された すごい習慣大百科』（堀田秀吾／SBクリエイティブ）
7	『人生100年時代を生き抜くための億万長者のコミュニティ資本論』（嶋村吉洋／プレジデント社）
8	『AIのド素人ですが、10年後も仕事とお金に困らない方法を教えて下さい！』（木内翔大／KADOKAWA）
9	『超初心者でも稼げるAI活用法』（あべむつき／KADOKAWA）
10	『読まない人に、本を売れ。』（永松茂久／ライツ社）

■イノベーション部門

順位	書籍名（著者名／出版社名）
1	『1つの習慣』（横山直宏／すばる舎）
2	『AIのド素人ですが、10年後も仕事とお金に困らない方法を教えて下さい！』（木内翔大／KADOKAWA）

3	『生きる言葉』(俵万智／新潮社)
4	『本質をつかむ』(羽田康祐 k_bird／フォレスト出版)
5	『アフターAI』(シバタナオキ／日経BP)

■マネジメント部門

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『冒険する組織のつくりかた——「軍事的世界観」を抜け出す5つの思考法』(安斎勇樹／テオリア)
2	『ドイツ人のすごいリーダーシップ 上司が3週間休んでもうまくいく最高の仕組み』(西村栄基／すばる舎)
3	『1年で潰れると言われた野球部が北国のビニールハウスから甲子園へ行った話』(原田一範／幻冬舎)
4	『軽自動車を作った男 知られざる評伝鈴木修』(永井隆／プレジデント社)
5	『世界標準の1on1』(スティーヴン・G・ロゲルバーグ、本多明生(訳)／ディスカヴァー・トゥエンティワン)

■経済・マネー部門

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『億までの人 億からの人』(田中溪／徳間書店)
2	『人生100年時代を生き抜くための億万長者のコミュニティ資本論』(嶋村吉洋／プレジデント社)
3	『あの国の「なぜ？」が見えてくる世界経済地図』(すあし社長／かんき出版)
4	『世界最強の米国株で始める株の教科書』(PAN／フォレスト出版)
5	『世界の新富裕層はなぜ「オルカン・S&P500」を買わないのか』(宮脇さき／KADOKAWA)

■自己啓発部門

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『科学的に証明された すごい習慣大百科』(堀田秀吾／SBクリエイティブ)
2	『人前で話したくなる声と話し方』(下間都代子／日本実業出版社)
3	『巨富を築く思考法 THINK AND GROW RICH』(ナポレオン・ヒル、児島修(翻訳)／アチーブメント出版)
4	『成長以外、全て死』(中野優作／幻冬舎)
5	『発信をお金にかえる勇気』(末吉宏臣／きずな出版)

■リベラルアーツ部門

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『お金の不安という幻想』(田内学／朝日新聞出版)

2	『本を読む人はうまくいく』(長倉顕太／すばる舎)
3	『話が面白い人は何をどう読んでいるのか』(三宅香帆／新潮社)
4	『あの国の本当の思惑を見抜く 地政学』(社会部部長／サンマーク出版)
5	『漫画 きみのお金は誰のため ポスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」』(田内学(原作)、吉岡味二番(漫画)／Gakken)

■ビジネス実務部門

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『人は話し方が9割 2』(永松茂久／すばる舎)
2	『超初心者でも稼げるAI活用法』(あべむつき／KADOKAWA)
3	『読まない人に、本を売れ。』(永松茂久／ライツ社)
4	『1冊まるごと「完コピ」読書術』(あつみゆりか／PHP研究所)
5	『note副業の教科書』(安斎響市／ぱる出版)

■＜特別賞＞ロングセラー賞

順位	書籍名(著者名／出版社名)
1	『【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学』(両@リベ大学長／朝日新聞出版)
2	『世界の一流は「休日」に何をしているのか』(越川慎司／クロスメディア・パブリッシング)
3	『世界一やさしい「やりたいこと」の見つけ方 人生のモヤモヤから解放される自己理解メソッド』(八木仁平／KADOKAWA)
4	『精神科医が見つけた3つの幸福』(樺沢紫苑／飛鳥新社)
5	『最高の体調』(鈴木祐／クロスメディア・パブリッシング)

【共同運営会社のご紹介】

■グロービス経営大学院([日本語プログラム](#)、[英語プログラム](#))

グロービス経営大学院は、2006年の開学以来「能力開発」「人的ネットワークの構築」「志の醸成」を教育理念に掲げ、ビジネスの創造や社会の変革に挑戦する高い志を持ったリーダー輩出のために尽力しています。国内では東京・大阪・名古屋・福岡・オンラインの5キャンパスおよび仙台・水戸・横浜の特設キャンパスを開設。さらに海外ではシンガポール・バンコク・サンフランシスコ・ブリュッセル・マニラ・ジャカルタに開講拠点があります。

2006年開学当初78名だった入学者数は、2025年4月には日本語MBAプログラムで943名に達しました。在校生・卒業生は合計1万3,000人を超え、日本最大のビジネススクール*に成長を遂げています。英語MBAプログラムは、パートタイム&オンラインMBAプログラム、フルタイムMBAプログラムを展開し、世界各国から多様な学生が集まっています。グロービス経営大学院は、今後も創造と変革を担うビジネスリーダーを育成し、テクノロジー時代の世界No. 1MBAを目指していきます。

* 参考: 文部科学省「令和7年度専門職大学院一覧」

ビジネス書1冊の大筋を10分で理解できる、本の要約サービス「flier(フライヤー)」
要約は4,200冊超え、ビジネスパーソンの“スキマ時間”活用に一役

本の要約サービス「flier」

flierは、1冊10分で読める「本の要約サービス」です。ビジネス書の新刊や話題のベストセラー、名著の要約をウェブ、アプリで毎日公開。AIを使った音声版もあります。収録書籍数は4,200冊超、累計会員数は129万人を突破しました(2026年2月現在)。

その他、オンラインコミュニティ「flier book labo」や、全国の書店店頭でflierの要約ページをQRコードで“立ち読み”できるコラボフェアも展開中です。

<https://www.flierinc.com/>

※QRコードの商標はデンソーウェブの登録商標です。

法人版サービス「flier business」

flier businessは、企業が人材育成や福利厚生に本の要約を活用できる法人向けサービスです。2019年にflier 法人版(2023年に名称変更)として提供開始。コロナ禍を境に集合研修が難しくなった法人企業を中心に、社員教育の一環として契約する企業が増え続け、累計法人導入社数1,300社を突破。

要約から得た学びや気づきをメモ・共有できる「学びメモ」、おすすめ要約を選書・プレイリスト化できる「読書プログラム」等をご利用いただけます。

<https://biz.flierinc.com/>

組織の“成長組織スコア”を可視化する「flier成長組織ナビ」

flier成長組織ナビは、従業員一人ひとりの成長環境を確保するための要素を独自に調査・分析し、従業員と企業を成長に導く新しい概念のサーベイです。「制度・関係性・循環・学びの姿勢・成長実感」という5つの項目から、「成長組織スコア」を構成。事業成長や人材成長と連結する本質的な要素を把握できる形で、人が育ち成長する“成長組織”への変革を支援します。

<https://growthnavi.flierinc.com/>

■株式会社フライヤー 会社概要

フライヤーは、「ヒラメキあふれる世界をつくる」をミッションに、変化が激しい現代において、発想力が求められるビジネスパーソンのための「知」を軸とした様々な事業を創っていきます。

<実績>

- ・日本の人事部「HRアワード2021」プロフェッショナル部門の人材開発・育成部門で最優秀賞を受賞
- ・「BOXIL SaaS AWARD」eラーニング部門で5季連続「Good Service」を受賞
- ・本を通じてあらゆる人が知や教養を深め、読書や本の文化の裾野を広げることに貢献している点を評価され「2023年度グッドデザイン賞」受賞
- ・「クローズアップ現代+」「おはよう日本」「ワールドビジネスサテライト」等、紹介多数

社名	株式会社フライヤー	設立	2013年6月4日
代表	代表取締役CEO 大賀康史	従業員数	51人(2026年2月)
資本金	6.14億円		
本社	東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル8F		
事業内容	本の要約サービスflier(フライヤー)の開発・運営(https://www.flierinc.com/)		
サービスプランと月額料金	<flier business> 100アカウント月額105,600円(税込)※別途初期費用 <flier個人利用> ゴールドプラン2,200円、シルバープラン550円、無料プラン(税込) ゴールドと学割は全ての書籍の要約文が読み放題、シルバーは毎月5冊まで読める		

報道各位からのお問い合わせ先
株式会社フライヤー: 井手、増田、橋本、桑田
TEL: 03-6212-5115 MAIL: pr@flierinc.com